

西暦 2022 年 5 月 30 日

山形大学医学部附属病院にて診療を受けている、受けたことのある方、ご家族の方、ご親戚等の方へ（研究に関する情報）

当院では、下記の研究を実施しております。この研究は、通常の診療または過去に実施した研究で得られた試料や情報（以下、「臨床情報」という。）を用いて行います。

この掲示によるお知らせの後、臨床情報の使用を許可しない旨の、ご連絡がない場合においては、研究へのご理解をいただいたものとして実施します。

なお、個人が特定できる情報は研究には利用しません。また、研究データ上にも残りませんので、研究の実施により、あなた、またはあなたのご家族・ご親族等の個人情報流出することはないと考えております。

また、研究の成果を公表するときにおいても個人情報を提示することはありません。

皆様方におかれましては、研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、問い合わせ先まで、ご連絡ください。

① 研究課題名	Clinical significance of the prognostic nutritional index in patients undergoing lung cancer surgery 肺癌外科手術における栄養指標の臨床的意義について
② 倫理審査委員会承認番号	2022-77
③ 研究期間	2015年1月1日から2023年12月31日まで
④ 研究の目的	栄養状態が一般外科手術の周術期成績、長期成績に影響する重要な役割を果たしていることが報告されています。代表的な指標の一つに予後栄養指数が報告されていますが、肺癌手術における周術期成績と予後に対するこの指標の関連は明らかではありません。また近年トランスサイレチン、レチノール結合蛋白といった血清中の数値が、鋭敏に栄養状態を反映することが報告されていますが、これらの値についても肺癌手術における周術期成績と予後に対する関連は明らかではありません。これらの背景を基に、肺癌外科手術における周術期成績、全生存率に対する栄養指標の臨床的な意義について検討したいと考えています。
⑤ この研究の対象となる方	2015年1月1日から2022年6月1日までに本院に来院し

	原発肺癌に対し手術を受けた方
⑥ 研究の方法	この研究では、肺癌を患っている方で手術という治療を受けた方 476 名を対象に、治療した当時の臨床情報データを用いて、統計解析を実施します。
⑦ 利用する情報	診療記録データ：年齢、性別、病側、併存疾患、術式、手術時間、出血量、病理診断、手術記録、血清アルブミン値、身長、体重、好中球数、リンパ球数、血清総蛋白値、血清アルブミン値、レチノール結合タンパク値、トランスサイレチン値、CT 画像等
⑦他機関への臨床情報の提供	【提供がない場合】 本研究の実施にあたり、他の研究機関に臨床情報が送付されることはありません。
⑧ 臨床情報の管理責任者	管理責任者氏名：鈴木 潤
⑨ 臨床情報を利用する者	研究責任者氏名：内田徹郎 主任研究者氏名：鈴木 潤 分担研究者氏名：塩野知志 渡辺 光 捧 貴幸 佐藤開仁 松井雄介
⑩臨床情報の利用停止について	いつでも、この研究にあなた自身の臨床情報を使用しないよう求めることができます。臨床情報の使用を認めなかったとしても、あなたに不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。 ただし、使用停止を求めた時点で、研究結果が論文などで公開されていた場合には、完全に臨床情報の使用を停止できないことがあります。
⑪問い合わせ先	山形大学医学部附属病院 第二外科 〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2 TEL：023-628-5342 Fax：023-628-5345 E-mail：junno58@med.id.yamagata-u.ac.jp 担当者氏名：鈴木 潤

以上